

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

0. 講義をはじめるにあたっての注意

▽講義担当者の予定

10/03, 10/17, 10/24, 10/31	辻原（地域環境調整工学担当）
11/07, 11/14, 11/21, 11/28	中村先生（環境設備システム学担当）
12/05, 12/12, 12/19, 01/16	李先生（居住空間材料学担当）
01/23	予備日

注1) 上記の担当者と日程は、予定です。変更になる可能性もありますので、注意してください。

注2) この科目はオムニバス形式で、それぞれの教員ごとに行った評価を集計したものが最終評価になると思われますので、履修の際には十分注意してください。試験の実施時期やレポートの提出や成績の評価については、各教員の指示に従ってください。

▽辻原担当分の講義の注意

- ・辻原担当分は、10月3日を国外出張のため休講としましたので、3回分で行います。
- ・この講義は、学部全体を対象とした「学部共通科目」で、1年生配当の「導入科目」です。
- ・「学部共通科目」ですので、生態・環境資源学専攻の学生や食・健康環境学専攻の学生にもわかりやすい講義となるように心掛けます。したがって、居住環境学専攻の学生の中には物足りなさを覚える可能性もあります。そのような場合は、本学附属図書館などで参考文献を調べるなどして、自分で勉強を進めてください。
- ・「導入科目」ですので、広く浅く（実際は、広くはないのですが、そのように思えるでしょう。）説明せざるを得ません。もっと深く勉強したい場合は、やはり図書館などをを利用して自ら勉強を進めてください。
- ・できるだけ見やすいスライドを作成するよう努力していますが、図表などの細かい部分の判読は難しい場合があります。できる限り、前の方の座席に座り、自衛してください。また、不明な場合は、その場で質問するようにしてください。
- ・プリントは、毎回、穴埋め形式のものを配布します。講義を聴きながら、空欄を埋めるだけではなく、気が付いたところや面白そうなところをどんどんメモするようにしてください。そのためには余白を大きく取っています。
- ・この講義は、皆さんに自分たちで居住環境を考えてもらうきっかけにすぎません。参考書などで、自ら進んで勉強するように心掛けてください。
- ・辻原担当分の場合、辻原担当の3回目の講義の際に、レポート課題を出題します。このレポートの評価に出席点を加味して、辻原担当分の評価とする予定です。

1. 居住環境とは？

居住環境=私たちの意識や行動に何らかの作用を及ぼすと同時に、私たちの意識や行動によって何らかの作用を及ぼされている、_____や私たちの_____をとりまく_____のこと。

私たちを取り巻く環境

—社会環境=_____と_____の_____作用（人間の気持ち、心理、意識など）

—物理的環境=人間と_____との相互作用((____)____, ____(+____),
| _____, _____など)

—自然環境

—人間が手を加えた_____環境

※構築環境：自然環境に人為的な造成を加えてつくり出された環境。

—_____スケールの違い（身体のまわり、部屋、住まい、町内、都市、地域……）

| ※特に住まいの内部（_____環境）と住まいの外部（_____環境）に区別する
| ことが多い。

—_____レンジの違い（ある瞬間、1日、1週間、1年、数年、生涯……）

※連続的で均質な等間隔目盛りの_____な時間の概念と私たちの感じる
(_____)する時間の概念は異なる。

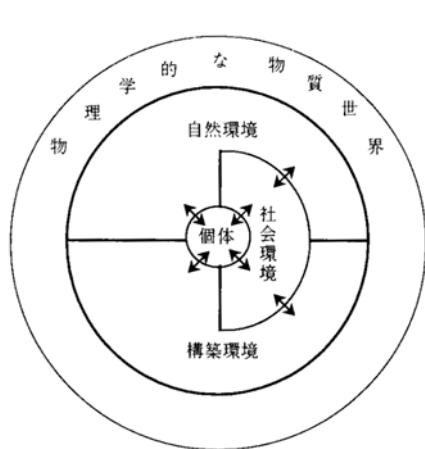


図1 環境の概念図

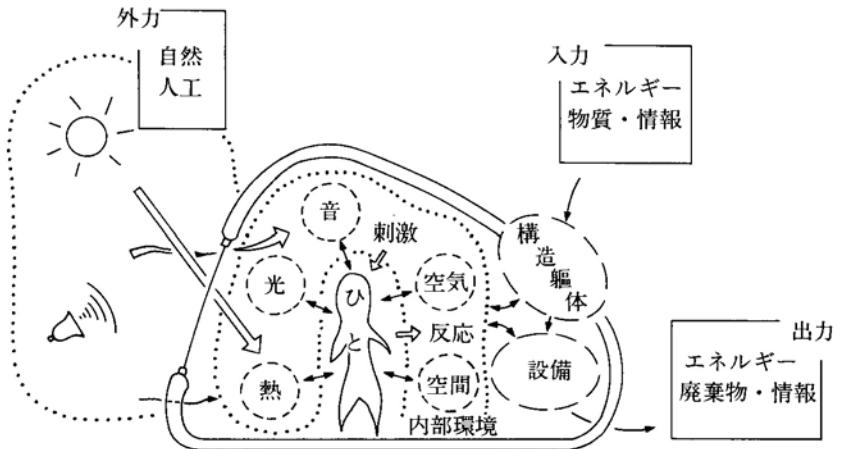


図2 住まいを中心とする環境と人間の相互作用

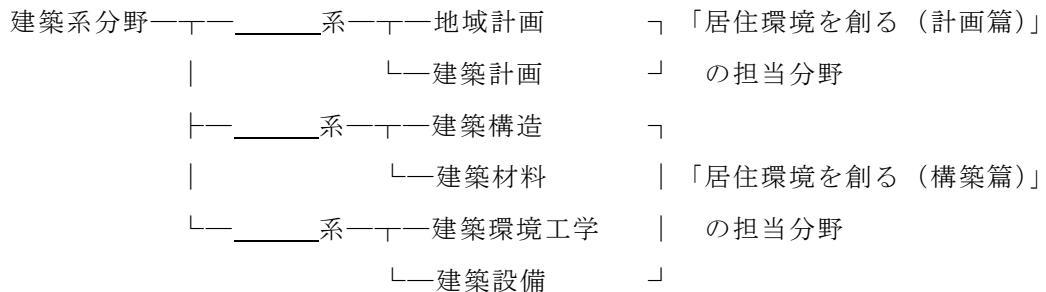
2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

2. よりよい居住環境を創るために

建築系分野の枠組み



居住環境学

われわれをとりまく周囲の環境の

- 1) ____性（→構造系）
- 2) ____性, ____性, ____性（→環境系, 計画系）
- 3) _____（→計画系）

を実現しようとする学問体系。

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

3. 居住環境の調整

住まいの機能

表1 住まいの機能

第一次の機能——避難・保護の場	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害からの防衛 ・風雨寒暑からの保護 ・社会的ストレスからの解放
第二次の機能——家族生活の場	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・子育て ・調理・食事 ・だんらん ・家財管理 ・家庭看護 ・もてなし・接客 ・近隣交流
第三次の機能——個人発達の場	<ul style="list-style-type: none"> ・休養・くつろぎ・睡眠 ・趣味 ・仕事・学習

地上に構築された原始住居として堅穴住居は、もっともポピュラーである。中国その他にもあったが、日本では縄文・弥生期を経て奈良時代あたりまで庶民の住居として使われた。



図3 堅穴住居

⇒人間も他の生物と同様、_____環境（物理的環境、気候や風土など）に_____する能力を持っている。しかし、生来備わった適応能力にも、_____がある。

⇒人間が_____に、_____に、_____に、そして_____に住めるようにするために、外界の厳しい気候（物理的環境、特に自然環境）を_____する必要がある。

居住環境の調整手法

(1) _____システム：_____を用いて、環境調整を行う。

(2) _____システム：機械設備を用いず、建築自体の部位エレメントの工夫によって、_____を有効に利用しつつ、環境調整を行う。

→7. パッシブ環境調節の技術を参照のこと

4. アクティブシステムによる環境調整

空調=「_____」(Air Conditioning)

→「対象とする空間の_____の

_____、_____、_____、_____を、その空間内で要求される値に合うように、_____に処理するプロセス。」

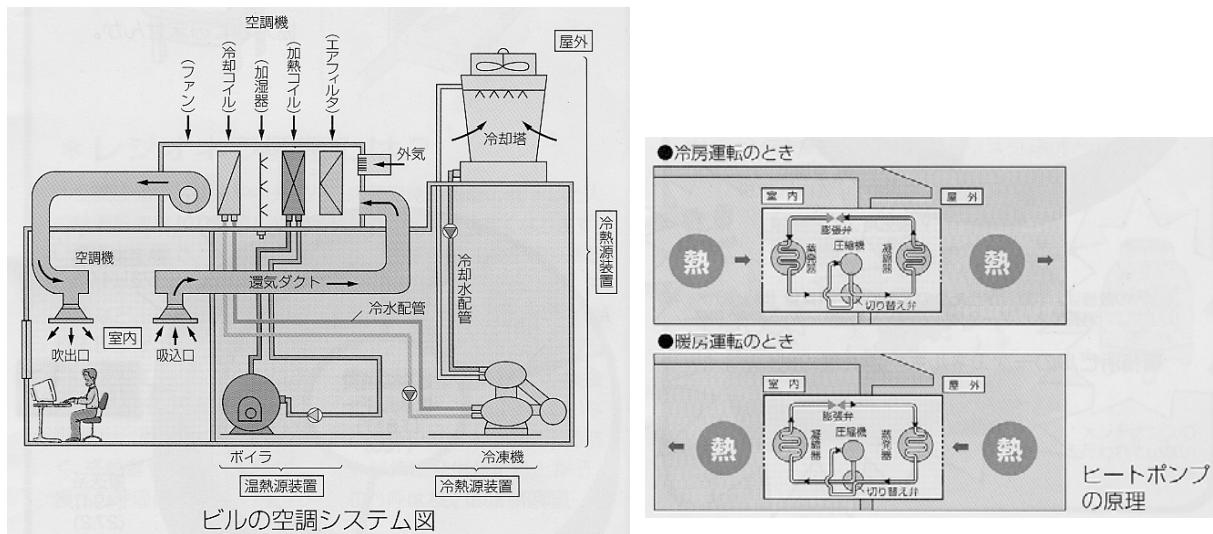
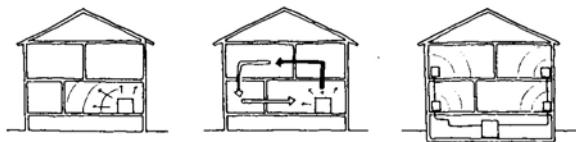


図4 空調システムの基本構成

採暖と暖房（暖房設備の進化）

_____：部屋（＝____）ではなく、体を直接暖めること。「いりおり」、「暖炉」、「こたつ」など。

_____：部屋（＝____）全体を暖めること。



建物の中に寒さを残しながら、暖かさを求める採暖方法
暖房器に向かう冷たい空気の流れをつくる対流型の暖房方法
発生する寒さをその場所ごとに処理する除湿器型の暖房方法

図6 暖房の方法のいろいろ

環境調整における冬季の問題点

- _____ （→8ページの新聞記事を参照）
- _____ 症候群（→9ページの新聞記事を参照）
- _____ （→10ページの新聞記事を参照）
- 環境への適応能力の_____化 など

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

5. 参考文献

- [1]『絵とき 自然と住まいの環境』(堀越哲美・澤地孝男編, 彰国社, 1997年2月, ¥2,400+税, ISBN:4-395-00466-0) [開架2, 519||H 89, 0000193484]
- [2]『INAX BOOKLET 人間住宅 環境装置の未来形』(建築・都市ワークショップ+石黒知子編, INAX出版, 1999年6月, ¥1,800+税, ISBN:4-87275-808-0) [開架2, 527||Ke 41, 0000263601]
- [3]『講談社現代新書1412 室内化学汚染-シックハウスの常識と対策-』(田辺新一著, 講談社, 品切重版未定, ISBN:4-06-149412-0) [文庫本, 080||49||1412, 0000268043]
- [4]『ブルーバックスB-1416 寿命を縮める家 安全で健康なわが家にする78の対策』(直井英雄・坊垣和明, 講談社, 2003年8月, ¥800+税, ISBN:4-06-257416-0) [開架2, 408||Bu 1||B-1416, 0000277976]
- [5]『はなしシリーズ 賢いエアコン活用術 環境にも家計にもやさしい』(北原博幸, 技報堂出版, 2003年6月, ¥1,800+税, ISBN:4-7655-4437-0) [開架2, 528.2||Ki 64, 0000283193]
- [6]『健康に住まう家づくり』(空気調和・衛生工学会編, オーム社, 2004年4月, ¥2,857+税, ISBN:4-274-10349-8) [開架2, 527||Ku 15, 0000293062]
- [7]『北大選書18 ストーブ博物館』(新穂栄藏, 北海道大学図書刊行会, 1986年12月, ¥1,400+税, ISBN:4-8329-2181-9) [開架2, 528.2||Sh 59, 0000263747]
- [8]『「建築学」の教科書』(安藤忠雄ほか著, 彰国社, 2003年6月, ¥2,286+税, ISBN:4-395-00542-X) [開架2, 520||A 47, 0000272874]
- [9]『新版 建築を知る はじめての建築学』(建築学教育研究会編, 鹿島出版会, 2004年11月, ¥1,900+税, ISBN:4-306-04445-9) [所蔵なし]
- [10]『建築 虎の穴 見聞録 訪ねて歩く材料と工法』(大嶋信道著, 新建築社, 2005年5月, ¥2,400+税, ISBN:4-7869-0186-5) [所蔵なし]

6. 参考URL

- [1] 講義資料のダウンロード

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsugi/kougi.html/tsukuru.html/kyojyutsukuru.html>

- [2] 空気調和・衛生工学会のホームページから「空気・水・熱」

<http://www.shasej.org/air/air.html>

- [3] 日本建築学会室内化学物質空気汚染調査研究委員会のホームページ

<http://news-sv.aij.or.jp/iapoc/IAPOC.htm>

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻
助教授・辻原万規彦

[4] 国土交通省のシックハウスに関するホームページ

<http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/sick.html>

◇ ◇ 質問などは、

環境共生学部旧棟（生活科学部棟）旧棟4階西南角（407）の辻原研究室まで

電話：096-383-2929（内線492）

E-mail：m-tsushi@pu-kumamoto.ac.jp

もしくは環境共生学部旧棟（生活科学部棟）旧棟4階中央の岡本助手室まで

電話：096-383-2929（内線482）

E-mail：okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

☆『日本経済新聞』（2005年1月22日付け朝刊記事）

室内の窓ガラスに水滴がつき、垂れ落ちる。窓ガラスに壁紙をぬらす結露。カビの発生を促す、家を防ぐだけではアレルギーや気管炎など、住まうに健康被害をもたらしかねない。シャットアウトのガキは温度と湿度のコントロールだ。手軽にできる対策を探った。

「レースカーテンがぬれた」危機に下がって水滴に変わるガラスに張り付き、「カビで黒ずんで、半つた」「窓から垂れ落ちる」など、結露がはがれた。手軽にできる対策を採った。

十歳代の主婦の「八か月が経験したことがあります」といって、「冬場は必ずじめ取るのが七四〇が一番簡単だ」といふ。「冬場は必ずじめ取のが、まさにやっかいな存在だ。気温が低い場合は、内窓を閉めておいた方がいい」と話す。

「毎朝の結露が日課」（川崎市の主婦、41）。ついで、「冬場は必ずじめ取のが、本当に困る」といふ。

結露を絶つ

窓に断熱用シート 换気は2時間に1回



断熱シートをガラス窓に貼ることで結露が防止できる

冬の結露対策のポイント

換気は風の入り口と出口を考え、家全体に風を通す。目安は2時間に1回、3分

風呂やトイレ、台所の換気を回し放しにする

台所使用時は必ず換気

就寝前、暖房を切ったら5分換気

洗濯物を室内に干さない。干すならそばに除湿器を置く

押し入れの床面だけでなく壁面にもすこを書き空気を循環させる。普段は5センチくらいすきを開けておく

ペアガラスや断熱サッシに換える

断熱シートをはる。透明や半透明のものがあるので部屋により使い分ける

棒や新聞紙や古布などを用いて結露を防ぐ

部屋ごとの個別暖房ではなく全室暖房にする

時々各部屋のドアを開けて家の中の温度差をなくす

加湿器を過剰に使わない

暖房する部屋に隣接した寒い部屋は湿気が流れ込み結露が発生しやすい。家具は置かない。壁面から3~5センチ離す



いろいろな形状・種類の結露対策の商品が売られている（神奈川県厚木市）

ない。

乾かして密着させる。メーカーの二トマズ（東京都市中央区）によると部屋が二度、外が三度でも結露せず、もとい」と話す。外から帰宅した人の眼鏡が白くなるようなら加湿のしきぎ。温度計でチェックしたい。

一度、外が三度でも結露せず、もとい」と話す。外から帰宅した人の眼鏡が白くなるようなら加湿のしきぎ。温度計でチェックしたい。

空気層が断熱効果を持つなら、こんな包みのエアキャップもある。ガラスとシートの間に温気が入り込まないよう、テープなどで縁を密着させることができ。ガラスとシートのサッシの断熱を高めるため、既存の窓に装置するフレームを取り付け手縫いでも使う。ガラスをふき掃除するガラスや石油ストーブは水蒸気を発生して、上にヤカンで載せてもののなら温度は急速に下がる。石油ストーブや床暖房、上昇電気ストーブや床暖房、エアコン、こだつが適している。日本で主流の部屋ごとに暖房する方法も、原因の一つ。暖房した部屋に隣接した寒い部屋は湿気は温度まで乾燥し切れない。家具は置かない。壁面から3~5センチ離す

→結露によるカビで健康を害する可能性も！

→なにはともあれ、「換気」！ 寒いからと言って、1日中窓を閉め切らない。

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

☆『熊本日日新聞』（2002年12月30日付け朝刊記事）

発症時間に2回のピーク

午前7時と午後5時

【脳卒中の月別発症割合】

月	脳梗塞 (%)	脳出血 (%)	くも膜下出血 (%)
1	8.5	7.5	6.5
2	9.0	7.0	6.0
3	9.5	7.5	6.5
4	9.8	7.0	6.0
5	9.5	6.5	5.5
6	8.5	7.0	6.0
7	8.0	6.5	5.5
8	7.5	6.0	5.0
9	7.0	5.5	4.5
10	8.0	6.0	5.0
11	8.5	6.5	5.5
12	8.0	7.0	6.0

【急激に発症した脳卒中の発症時間】

時間	脳出血 (%)	くも膜下出血 (%)
1	2.0	1.5
3	2.5	2.0
5	6.5	5.0
7	7.0	5.5
9	5.5	4.5
11	4.0	3.5
13	4.5	3.5
15	4.0	3.0
17	9.5	7.5
19	7.0	5.5
21	4.5	3.5
23	3.5	2.5

※旧厚生省研究班の調査による

高齢者は一番風呂避けて

血圧の管理大切

大塚医長は「冬は四二度を超えるよどぶない。三八～四〇度くらいのぬるめのお湯に十分くらい時間をかけて入浴する」と話す。

外気との温差が大きい冬は、年間を通じて脳卒中の発症リスクが最も高い。冬に入り、救急医療センターに運ばれる脳卒中患者らが増えている。国立熊本病院熊本市の専門医に日常生活の注意点を聞いた。

旧厚生省の研究班は、「午前7時と午後5時」に2回の発症ピークがある。国立熊本病院の大塚忠弘医師によると、秋田県の全住民約百万人を対象に脳卒中の大掛かりな疫学調査を行った。脳梗塞（こうそく）、脳出血（くも膜下出血）の発症割合や一日のうちの発症時間、危険因子などをまとめた。

それによると、脳卒中の発症は寒い時期に多発する傾向がある。二十四時間の変動をみると、午前七時～午後五時（約2回）の二回単位では月曜日には血圧が高まるが、土曜日には血圧が低い傾向がある。この原因は、寒い時期の一週間避け方がよい」という理

由だ。

冬場の患者は、寒暖ストレスが原因で心筋梗塞の発作を起こして運ばれるケースが際立つ。年末年始は、忘年会や新年会などで酒を飲む機会が増え、発作の誘因になる。運動も、「毎日続いているから」といつて、冷え込みが厳しい早朝に頑張りすぎる時間が続いたり、運動量を減らす工夫を」と注意を促している。

大塚医長によると、冬は四二度を超えるよどぶない。三八～四〇度くらいのぬるめのお湯に十分くらい時間をかけて入浴する」と話す。

外気との温差が大きい冬は、年間を通じて脳卒中の発症リスクが最も高い。冬に入り、救急医療センターに運ばれる脳卒中患者らが増えている。国立熊本病院熊本市の専門医に日常生活の注意点を聞いた。

旧厚生省の研究班は、「午前7時と午後5時」に2回の発症ピークがある。国立熊本病院の大塚忠弘医師によると、秋田県の全住民約百万人を対象に脳卒中の大掛かりな疫学調査を行った。脳梗塞（こうそく）、脳出血（くも膜下出血）の発症割合や一日のうちの発症時間、危険因子などをまとめた。

それによると、脳卒中の発症は寒い時期に多発する傾向がある。二十四時間の変動をみると、午前七時～午後五時（約2回）の二回単位では月曜日には血圧が高まるが、土曜日には血圧が低い傾向がある。この原因は、寒い時期の一週間避け方がよい」という理

由だ。

冬場の患者は、寒暖ストレスが原因で心筋梗塞の発作を起こして運ばれるケースが際立つ。年末年始は、忘年会や新年会などで酒を飲む機会が増え、発作の誘因になる。運動も、「毎日続いているから」といつて、冷え込みが厳しい早朝に頑張りすぎる時間が続いたり、運動量を減らす工夫を」と注意を促している。

→急激な環境の差は、体に大きなストレスを与える。特に幼児や高齢者に注意。

→冬季では、お風呂場に入る際や、離れの便所に行く際など

→夏季では、冷房の効きすぎた部屋に入る際や、暑い屋外に出る際など

→だからといって、全く環境に差がないとそれはそれで・・・。

付録（レポート・論文の書き方）

レポートは、人に読んでもらうためのものです。従って、自分で何を書いているのかわからぬいようなレポートは提出しないでください。まず、第一に、読んでもらう人が理解できるように、わかるように、書くことを心がけてください。

熊本県立大学附属図書館の『図書館資料検索』(<http://wwwlib.pu-kumamoto.ac.jp/cgi-bin/limedio/limewwwopac/>) で、「論文作法」などをキーワードとして検索すると、論文やレポートを書く際に参考となる様々な文献がでてきますので、参考にしてください。

例えば、以下のようないい本があります。

- [1]『レポート・論文・プレゼン スキルズ レポート・論文執筆の基礎とプレゼンテーション』(石坂春秋, くろしお出版, 2003年3月, ¥1,400+税, ISBN: 4-87424-273-1) [3F和, 816.5, 9000006625]
- [2]『Wordを使った 大学生のための論文作成術 思考技術・情報処理技術を書く力へ』(佐良木昌, 明石書店, 2004年10月, ¥1,600+税, ISBN: 4-7503-1983-X) [3F和, 816.5||Sa 69, 0000290926]
- [3]『講談社現代新書 1603 大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康, 講談社, 2002年4月, ¥680+税, ISBN: 4-06-149603-4) [文庫本, 080||49||1603, 0000259322]
- [4]『講談社現代新書 1677 インターネット完全活用編大学生のためのレポート・論文術』(小笠原喜康, 講談社, 2003年8月, ¥720+税, ISBN: 4-06-149677-8) [文庫本, 080||49||1677, 0000273985]
- [5]『NHKブックス 954 論文の教室 レポートから卒論まで』(戸田山和久, 日本放送出版協会, 2002年11月, ¥1,120+税, ISBN: 4-14-001954-9) [文庫本, 080||Nh 2||954, 0000276644]
- [6]『レポート・論文の書き方入門 [第3版]』(河野哲也, 慶應義塾大学出版会, 2002年12月, ¥1,000+税, ISBN: 4-7664-0969-8) [3F和, 816.5||Ko 76, 0000285910]
→改訂版(1998年発行)は [3F和, 816.5||Ko 76, 0000222982], [書庫, 816.5||Ko 76, 0000252694]
- [7]『わかりやすい論文・レポートの書き方- テーマ設定から・情報収集・構成・執筆まで-』(安藤喜久雄編, 有楽出版社, 1999年7月, ¥1,500+税, ISBN: 4-408-59126-2) [3F和, 816.5||A 47, 0000275990]
- [8]『丸善ライブラリー246 理科系の論文作法- 創造的コミュニケーションの技術-』(高木隆司, 丸善, 1997年9月, 絶版, ISBN: 4-621-05246-2) [文庫本, 080||MA 1||246, 0000193254]
→改訂版あり。『理科系の論文作法』(高木隆司, 丸善, 2003年8月, ¥1,700+税, ISBN: 4-621-07264-1) [所蔵なし]
- [9]『PHP新書 074 入門 論文の書き方』(鷺田小彌太, PHP研究所, 1999年4月, ¥660+税,

ISBN : 4-569-60560-5) [文庫本, 080||P 56||074, 0000275303]

- [10] 『大学生と留学生のための 論文ワークブック』(浜田麻里・平尾得子・由井紀久子, くろしお出版, 1997年1月, ¥2,500+税, ISBN:4-87424-127-1) [3F和, 816.5, 9000005588, 9000006022]
- [11] 『平凡社新書 103 ぎりぎり合格への論文マニュアル』(山内志朗, 平凡社, 2001年9月, ¥700+税, ISBN:4-569-60560-5) [文庫本, 080||H 51||103, 0000275301]
- [12] 『卒論・ゼミ論の書き方 [第2版]』(早稲田大学出版部編, 早稲田大学出版部, 2002年5月, ¥1,000+税, ISBN:4-657-02516-3) [3F和, 816.5||W 41, 0000267194]
→初版（1997年発行）は [3F和, 816.5||W 41, 0000222141], [書庫, 816.5||W 41, 0000226622]
- [13] 『卒論応援団』(澁谷恵宜, クラブハウス, 2000年7月, ¥1,980+税, ISBN:4-906496-24-5)
[3F和, 816.5||Sh 23, 0000275899] [書庫, 816.5||Sh 23, 0000241701]
→第2版あり（2003年6月, ¥1,800+税, ISBN:4-906496-30-X) [所蔵なし]。
- [14] 『学生・院生のための研究ハンドブック』(田代菊雄, 大学教育出版, 2001年5月, ¥1,500+税, ISBN:4-88730-437-4) [開架2, 002.7||Ta 93, 0000271825] [書庫, 002.7||Ta 93, 0000252692]
- [15] 『どう書くか 理科系のための論文作法』(杉原厚吉, 共立出版, 2001年1月, ¥2,200+税, ISBN:4-320-00563-5) [開架2, 407||Su 34, 0000262974]
- [16] 『論文作法 調査・研究・執筆の技術と手順』(ウンベルト・エコ著, 谷口勇訳, 而立書房, 1991年2月, ¥1,900+税, ISBN:4-88059-145-9) [3F和, 801.6||E 19, 0000237337]
- [17] 『中公新書 624 理科系の作文技術』(木下是雄, 中央公論新社, 1981年9月, ¥700+税, ISBN:4-12-100624-0) [文庫本, 080||26||624, 0000005701, 0000005702, 0000005703]
- [18] 『ちくま学芸文庫 レポートの組み立て方』(木下是雄, 筑摩書房, 1994年4月, ¥757+税, ISBN:4-480-08121-6) [文庫本, 080||C 44||121, 0000277997]

その他にも、大学の売店（丸善）をはじめとして下記の本屋などで探してみて下さい。

1) 紀伊國屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通1-7-18

電話：096-322-5531 FAX：096-352-635

営業時間：10:00～20:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/01.htm>

2) 紀伊國屋書店熊本光の森店

〒869-1101 菊陽町津久礼3310(51街区) ゆめタウン光の森内2F

電話：096-233-1700 FAX：096-233-1701

2005.10.17

環境共生学部・居住環境学専攻

助教授・辻原万規彦

営業時間：10:00～22:00

<http://www.kinokuniya.co.jp/04f/d03/kumamoto/02.htm>

3) リブロ熊本店

〒860-0805 熊本市桜町3-22 くまもと阪神6F

電話：096-211-9033 FAX：不明

営業時間：10:00～19:30

<http://www.libro.jp/web/shoplist/kumamoto.html>

4) 喜久屋書店熊本店

〒860-0807 熊本市下通1-3-10 ダイエー熊本下通店6F

電話：096-319-8581 FAX：096-319-8583

営業時間：10:00～21:00

<http://www.blg.co.jp/kikuya/zip.htm#kumamoto>

5) 蔦屋書店熊本三年坂

〒860-0801 熊本市安政町1-2 カリーノ下通1F-2F

電話：096-212-9111 FAX：096-212-9890

営業時間：10:00～深夜1:00（金・土のみ～深夜4:00）

<http://www.tsutaya.co.jp/shop/tenpo.zhtml?FCID=8000>

6) 熊本大学生協の学生会館ショッピング書籍コーナー

〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1

電話：096-345-9451 FAX：不明

営業時間：8:10～19:00（土日祝休み）

<http://ha9.seikyou.ne.jp/home/kumamoto-u/index.html>

上記の全てに目を通す必要は全くありませんが、気に入ったものを1冊くらい手元に置いておくとよいと思います。